教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび
No.１９７
２０２３（令和５）年１２月２１日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

雪が降りました。
寒い日はあったものの、なかなか雪が降らないなと感じていた先週までですが、週末に一気に冬景色の街となりました。ピリカスキー場も２３日には全コースがオープンになるとのこと。
冬。クリスマス。一年の区切り。色んなことがあったでしょうが、良い総集編になると信じて。夜の街が明るくなりました。



教育委員リレーエッセイ

『　雑感・・・・・あれこれ　』

今金町教育委員　　船　木　　恵

今月の初め、司書仲間で企画した「ギターと絵本の夕べ」を開催致しました。
映像を担ってくださる方、朗読を担当してくださる方、ギター演奏をしてくださる方。そして何よりも年末のお忙しい中、足を運んでくださったみな様のサポートに支えられた感謝の時間でした。
テーマは～人生は一冊の絵本のように～とし、四季を感じる絵本とギターの音色に“人生”という時の流れを重ね、しみじみとその時間を味わう楽しいひと時でした。
一冊一冊の本を誰かと共有する･･･それはそこに集う人たちが最も自分にふさわしい答えに気づき、色々な理解の仕方があっても同じ本を通して、また、同じ空間を共有することで、人と人との心がつながる幸福感があります。もちろん、その会を創り上げるみんなのアイディアと工夫があれば尚更のことです。
生き体験、思い出は人が豊かに生きるための力を与えてくれるものと思っています。これから大人になる子どもたちにとって、とても大切なことかもしれません。

サン・テグジュペリの「星の王子さま」の中には、キツネのセリフが出てきます。
「心で見なくちゃものごとはよく見えないってことさ。肝心なことは目に見えないんだよ」

また、フローレンス・ナイチンゲールが晩年に書き遺した看護学覚え書の中で、「看護婦（現在は看護師）たるものは未だ経験せざることであっても、それを完治する資質を持たなければならない」と言っています。
ハードルの高い言葉ではありますが、どの様な立場の人にも共通に求められることかもしれません。経験が大切なのは言うまでもありませんが、そこから広がる何かを感じ取らなければいけないのでしょう。それは“想像力”ということになるでしょうか。

ぜひ、子どもたちや若い人たちには、これからもこの町で、たくさんの体験や心に残る思い出、そして優しい眼差しの人たちに出会ってほしいと願っています。
クリスマスが近いからでしょうか･････
何かしら、誰かと美味しいお酒でも飲みながら語り合いたくなります。



船木教育委員さんはこの12月でご退任となります。
平成29年4月から2期6年。たいへんお世話になりました。
ゆったりとした語り口から絵本や小説の話、子どもたちの姿や町の文化、芸術、歴史の話などなどご示唆をいただいてきました。元教育委員会職員ということもあり、事務局職員も相談しやすかったかと思います。（時には親しみを持ちすぎて失礼な対応もあった･･･かもしれず、この場をお借りして、私からもお詫びを･･･。）
どうぞ今後ともご指導よろしくお願いいたします。本当にお世話になりました。

教育委員リレーエッセイ

『　気づけば師走となりました(#^.^#)　』

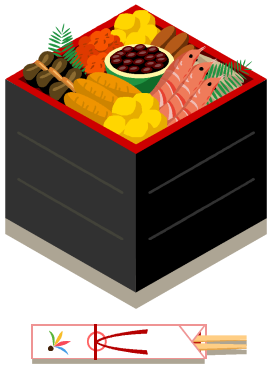
今金町教育委員　　永　井　　章

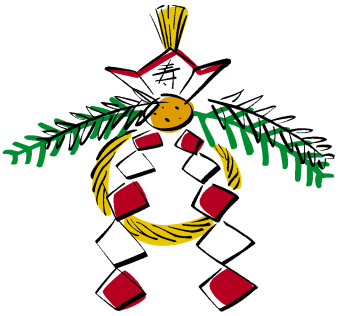
みなさんこんにちは。令和５年も残りわずかとなりました。みなさんはどんな令和５年をお過ごしになりましたか？

私は、毎年恒例の１月２日からの初売りに始まり、そして子供たちの就職がなんとか決まり、春には卒業、引っ越しとあわただしい前半でした。また、コロナは５類対応になり行事等は通常に戻りつつ、夏は猛暑であついあついと言いながらなんとか参加し過ごしてきました。秋から冬にかけては研修会等があり結構忙しいな～と思っていたら、気が付くともう１２月半ばになっていました。今年も何をしてきたかと思えば特に何もしていないような・・・。頑張る時は一生懸命にですが、頑張らない時も多々あります・・・。

振り返ってみると毎年いつもこんな感じで一年が過ぎ去っていくのを感じます。そして平凡に思うような毎日なんですが意外と毎日を楽しく過ごしていたと思います。とりあえず、今年も健康で楽しく一年を終われそうです＼(^o^)／

結びになりますが、みなさんも健康で楽しく毎日をお過ごしください。今年も一年お世話になりました。そして良いお年をお迎えください。





２０２４年（令和６年）が、これまでに増して希望に胸膨らむ年となりますことを。
元気で明るく、あたたかい一年にできますように。
ありがとうございました。